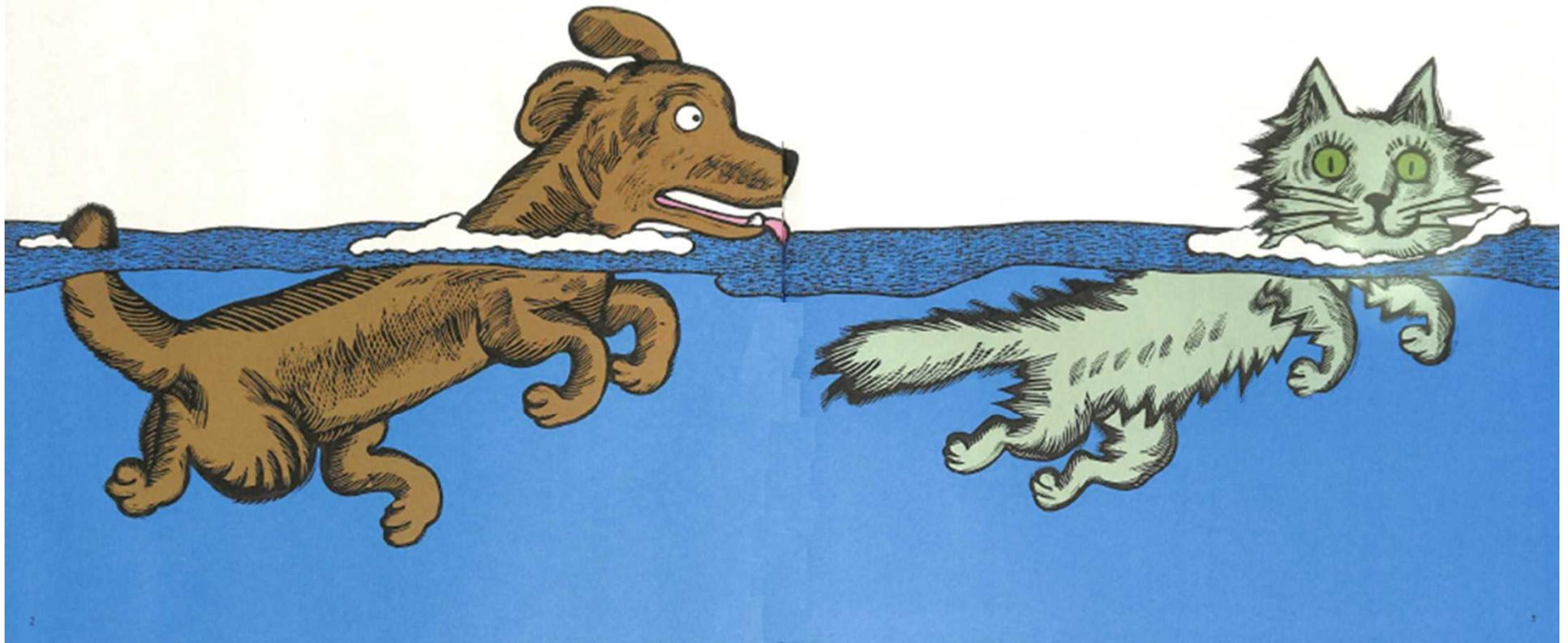


およぐ

なかの ひろたか さく



いぬは いぬかきおよぎ。 ねこも いぬかきおよぎ。



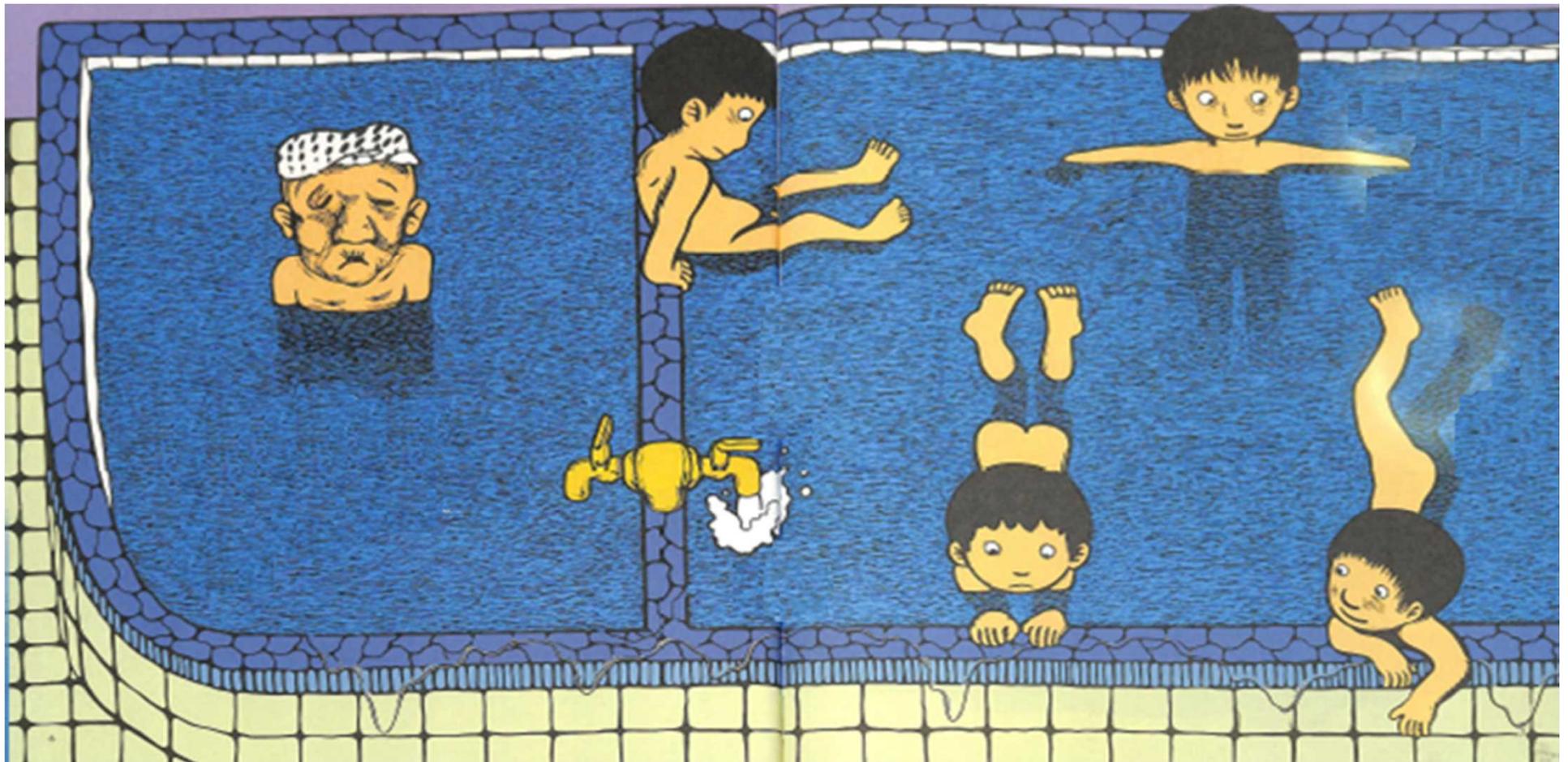
みんな おなじ いぬかきおよぎ。
でも、なぜ およげるのだろう。
それは からだが みずにくからだ。



にんげんの からだも みずに うくかな。 おふろで ためしてみよう。

おゆのなかでは からだは かるくなる。

ちからを ぬくと、そーら てもあしも うかんでくる。





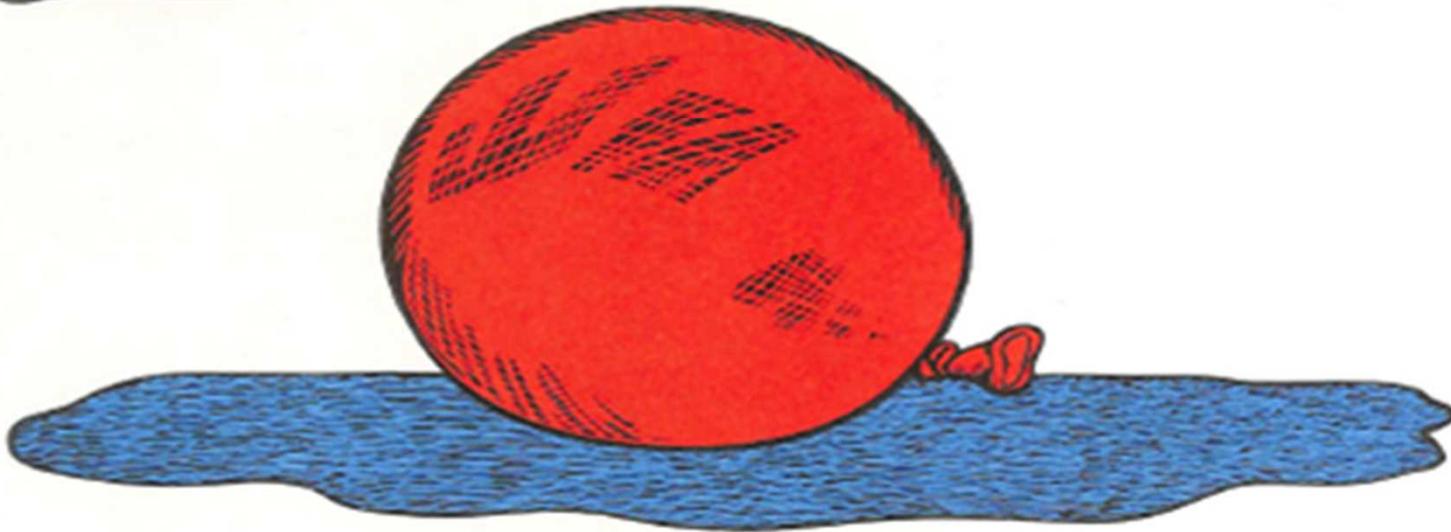
それに どうぶつも にんげんも

からだの なかに

うきぶくろを もっている

ふくらんだ ふうせんが

みずに うかぶのと おなじように



はいに すいこんだ くうきが うきぶくろの はたらきをして
にんげんの からだは
みずに うきやすくなるんだ。





さあ、プーるで れんしゅうだ。

そのまえに シャワーを あびよう

あたまや かおに

みずが かかっても

へいき へいき



プーるに はいったら、はじめは ゆっくり あるく。

それから はしってみよう。

つぎは たくさん くうきを すいこんで

うかんでみよう



「うわーん。かおがみずにぬれちゃった。」
「これはこまったぞ。」



かおがみずにぬれても
へいきにならないとおよげない

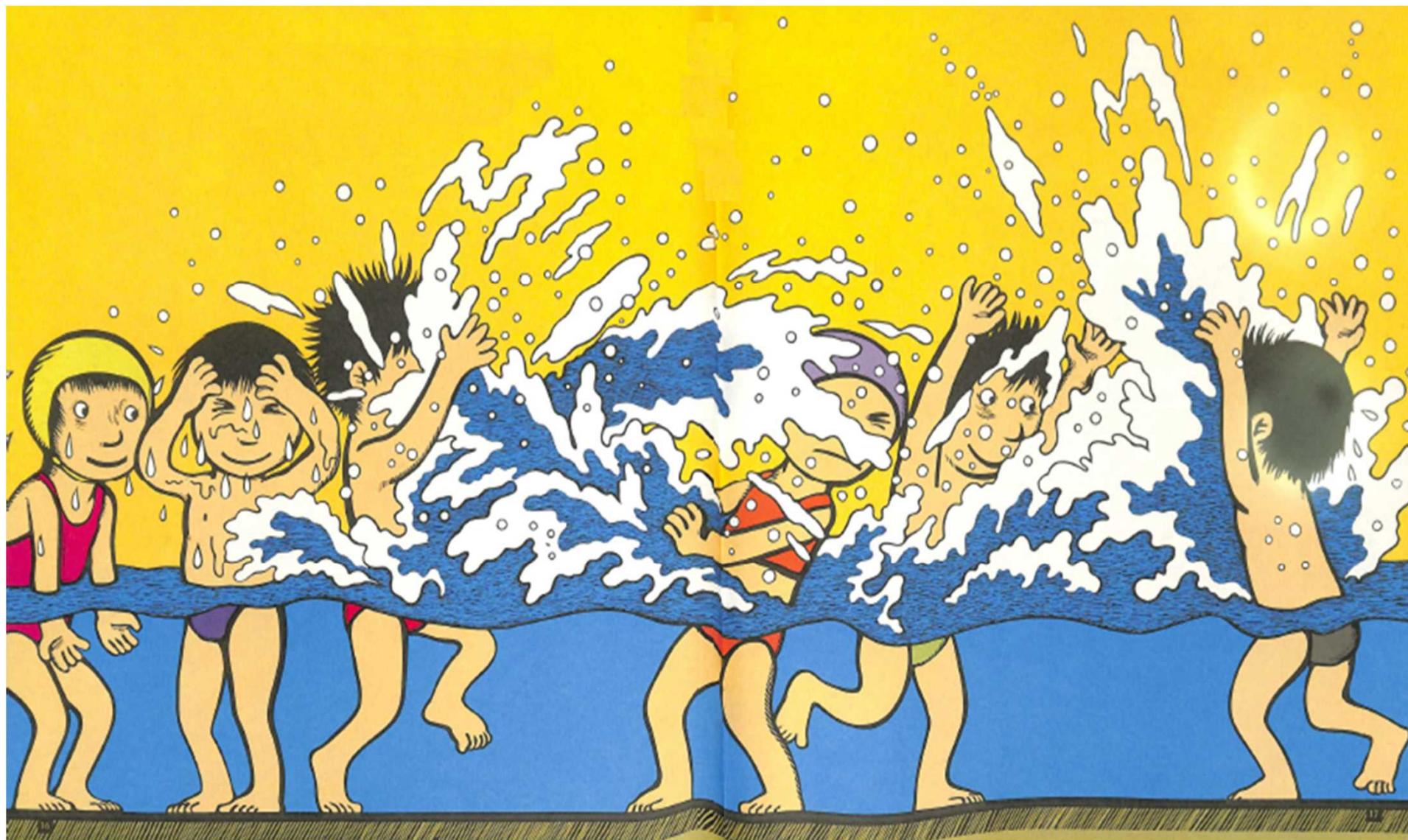
おもいきって かおを みずにつけてみよう

いやだ



それなら みんなで みずのかけあいをしよう。

どんどんかけろ、もっともっとかけろ。



かおが みずに ぬれても へいきになったら

こんどは みずのなかで いきをとめる れんしゅうだ。



ためたくうきを くちから いっきに はきだす。

かおを あげて。「うーん ぱっ。うーん ぱっ」



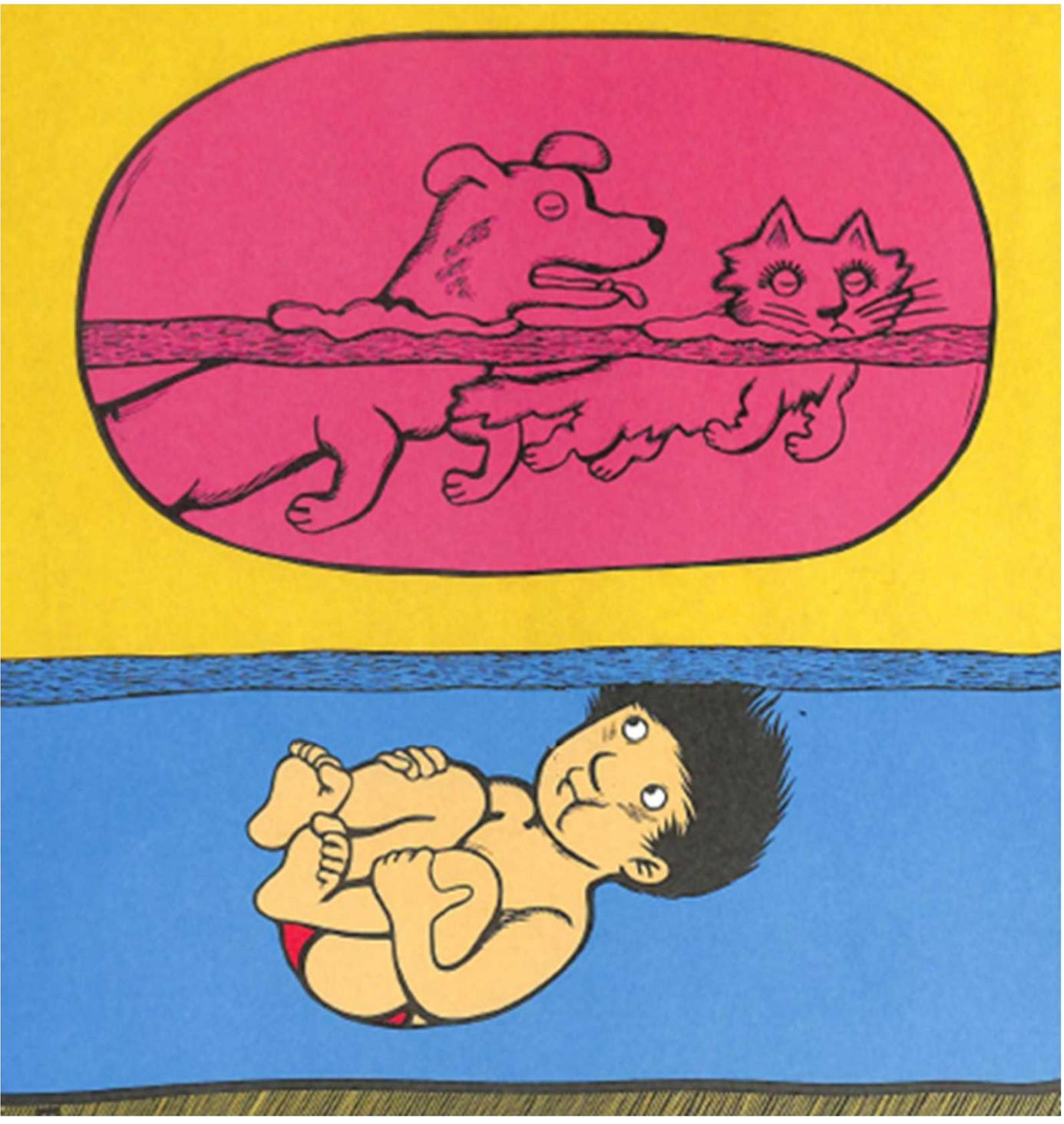
もう みずのなかに もぐることだって

できるぞ。みずのなかでも

めを あけていられるかい。

からだを まるめると、ほら、うくぞ。



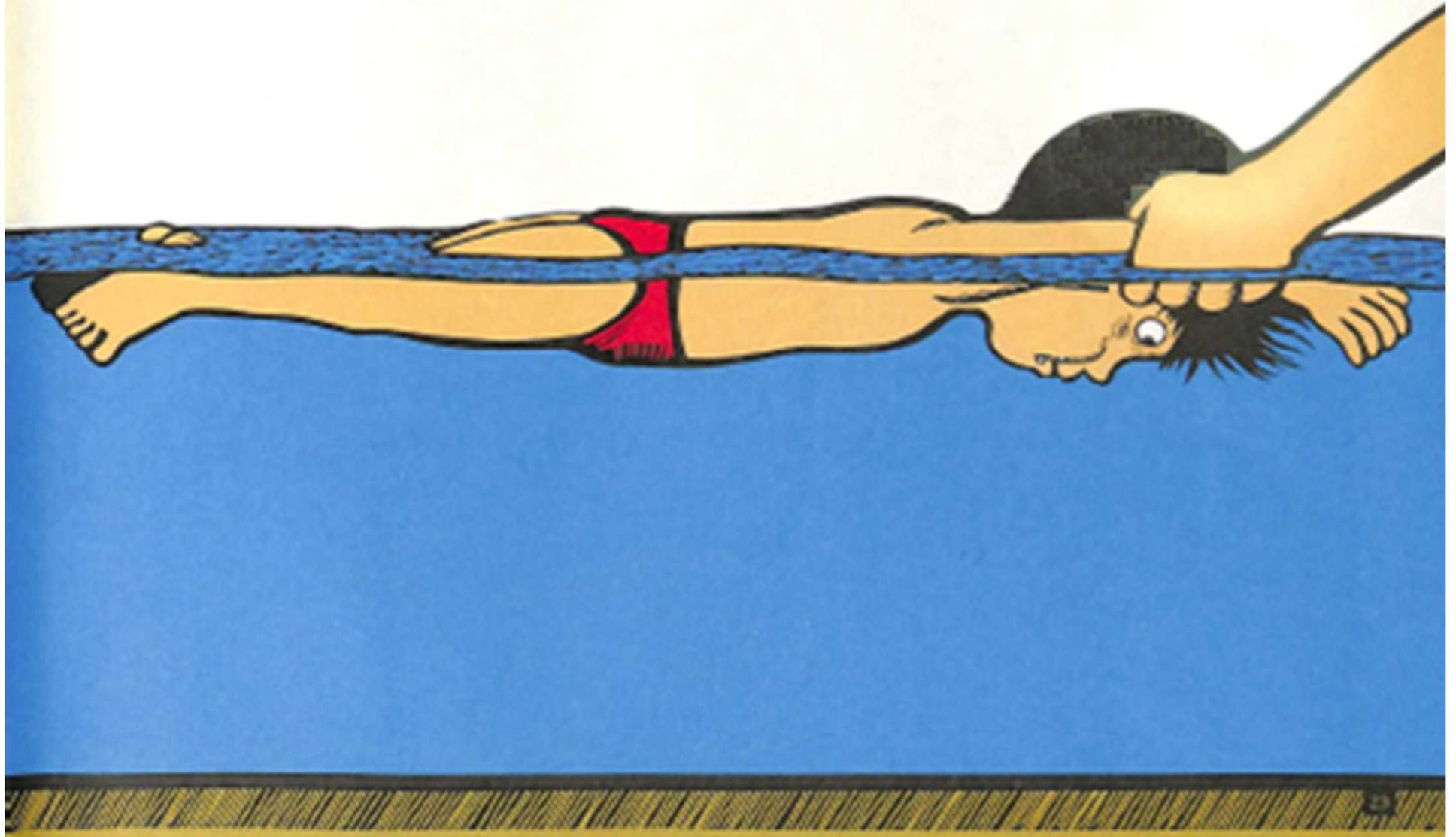


でも、そのか「じ」つ「じ」ゃ およげない

およぐには いぬ「や」ね「の」ように

からだを よ「に」しないと だめだ。

てを もってもらって よこになってみよう。



うかんだ うかんだ。

りょうあしを まげて

「とーん」とけったら どるひらだ。

とーん とーん すー ぱっ

